

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676300173
法人名	有限会社 すりい
事業所名	グループホーム ふれあい館
所在地	鹿児島県曾於市大隅町月野3486番地6 (電話) 099-482-5333
自己評価作成日	平成22年9月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年9月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の生活に、日程やスケジュールを決めず、その日・その時の入所者の思いを感じ取りながら、基本理念である「ゆったりと、さりげなく、住み慣れた地域の中で、あなたが、あなたらしく」の実践を心がけています。

「生活の主人公は入所者」であることを念頭に、入所者・御家族共に、「安心できる場所」と心から感じられるように、さりげない支援・援助を行っていく努力を続けていきます。

「認知症ケア」は、まだまだ不完全で未熟ですが、今後も、職員一同、一丸となって取り組み、本物をめざしていきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・施設長が長年の地域福祉への夢をかけて作り上げたホームであり、職員の一人ひとりが、利用者への深い思いを抱き支援している。

・身体障害の職員を交えて、お互いに支えあいいたわりあいながら、協力して利用者への細やかな配慮を行い支援している。

・スタッフと家族の自然な交流があり、ホームの中庭の草刈など、利用者の家族が協力して進めている。

・スタッフ間が和気藹々としており、利用者の表情も明るい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念においては分かりやすい言葉に置き換え、目に付きやすいところに掲示している。また、日々の申し送り時などで理念を職員へ伝え、お互いの意識を高めるようにしている。	「ゆったりと、さりげなく、住み慣れた地域の中で、あなたがあなたらしく」との理念を掲示し、ミーティングや申し送り等で、管理者と職員は話し合いを行い共有し、実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流とまではいかないが、家族や地域の方々の誘い等に柔軟に対応するように心がけている	散歩のときに、地域住民より野菜を戴いたり、餅つき大会に参加したり、中学生の体験学習の受け入れや園児との交流もある。事業所が地域の一員として日常的に交流するまでには至っていない。	地域の事情はあるが、もう一段の地域との交流が望まれる。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々から、認知症の相談や福祉サービス等の相談を受けた際は、相談に応じるようにしている。(介護サービスの説明や他施設の紹介など)		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進の方々や地域の民生委員の方々にも積極的な行事参加等を依頼し、感想や意見、要望等を伺うことができ、サービス向上に取り組んでいる。	運営推進会議で、餅つきのアドバイスや、地域からの意見などが提示され、運営やサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市内のグループホーム・小規模多機能の会の設立をきっかけに、積極的に市担当者との意見交換が行えている。	行政とは困難事例の解決や、運営上の相談などを行っている。地域包括支援センターとは連携を取り、交流している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関するマニュアルを作成し、日々の申し送り時など、全職員に徹底して伝えている。	身体拘束防止マニュアルにより、研修をしている。目に見える拘束だけでなく、目に見えない拘束についても廃止するように取り組んでいる。言葉による指示・命令についても、別の方法はないかなど具体的取り組みがなされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関するマニュアルを作成し、日々の申し送り時など、全職員に伝える努力をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度自体の理解は難しいが、状況に応じて、包括支援センターや福祉事務所等に相談、助言等を頂きながら、対応するように心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>文章と口頭で十分に説明を行い、利用者の思いを含め、家族の理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から、入所者や家族が、思いや意見を自由に言えるような関係作りに努めており、それらの意見等を申し送り時やケア会議に伝えて、改善に取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や面会時・ホーム行事の時などに、気さくに意見や要望を聞くようにしている。利用者への金銭取り扱いの支援をして欲しいとか、調理の時にエプロンをつけるようにしたら等、要望等を運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から、職員の意見や提案を聞けるような機会をもっている。</p>	<p>代表者や管理者は職員と自由に意見を言える関係ができています。研修に参加したいので旅費を出して欲しいとか、支援の在り方について等、要望や提言が出され、運営に反映している。個人の相談にも応じている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務の調整等、柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修参加等の機会を設けている。また、報告書を活用して、ケアの向上に活かせるように取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域で開催される研修会や認知症勉強会に参加しながら、交流に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	相談の段階から、本人との関係を築けるように努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	相談の段階から、家族との関係を築けるように努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	相談を受けた時点で、入所を優先とせず、本人の現状を確認し、「今、何が必要か」を見極めた対応に努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員は入所者に助けってもらったり、教えてもらったりする場面を作るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族に助けってもらったり、教えてもらったりする場面を作るようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで大切にしてきたなじみの人や場所との関係が途切れないように、支援を行っている。	ホーム入居前に参加していた高齢者学級に継続して参加したり、寺への参詣や親せき宅の訪問・行きつけの店の利用など、馴染みの関係が継続できるように支援している。また、友人等の来訪についても支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者の個性など、常に見極めながら、良好な関係を保ち、支え合えるように取り組んでいる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等でサービス利用（契約）が終了しても、本人や家族の必要に応じて、次の生活場所の確保や担当者との引継ぎ等、関係を継続しながら、援助を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を汲み取るように努力している。	ゆっくりとそばに寄り添い、本人の思いや意向を、表情や行動・会話から汲み取るようにしている。入居前の生活・家族・暮らしぶりなどから思いを把握するように工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	得られた個別情報をその人らしい暮らし方や力の発揮に活かせる様に努力している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入所者一人ひとりの生活状況を把握しながら、ケアに活かせるように取り組んでいる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時や電話時に近況報告をしながら、家族の意見や考えを聴く機会を作っており、入所者や家族に相談し、同意の下、作成している。又、更新時や状態の変化に合わせて、速やかに計画の見直しを行っている。	1か月毎にモニタリングを行い、介護計画とケアの内容を確認している。日々の支援の中で本人の意向や面会時や家族連絡時に意向を把握し、主治医やスタッフの意見も交えて、状態に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録だけでなく、日々の申し送り等で、気付いた事などを話し合い、情報を共有し、実践や介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホームの機能を最大限に活かせる様に柔軟な支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向を取り入れ、関係機関等と協力しながら取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関もあり、定期的な往診を受けたり、必要時の検査等も受けられるように支援している。	かかりつけ医の往診等を継続して受診できるように支援している。必要に応じて協力医療機関の受診も支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関による毎月の往診、緊急時の受診等において医療面・健康面の相談を日頃から行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関のSW等と日頃から、連携を図っており、そうした場合等に備えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所後、生活が安定した頃から、家族等と話し合う機会を設けている。</p>	<p>入所の時点で重度化や終末期について基本的なことを話し合い、理解を得るようにしている。そのうえで、状態の変化に応じて、対応の仕方を家族と共に語り、共に考え、最後まで支援の在り方について一緒に話し合う体制を取っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急蘇生法等の訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練や避難訓練を行い、その際は、近隣や地域の方々の協力をいただいている。</p>	<p>地域住民の参加を得て、夜間想定を含む年間2回の防災訓練や避難訓練を実施している。スプリンクラーの設置が完了し、火災等自動通報装置も設置している。備蓄もできている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は常に、入所者一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応を行っている。	人格の尊重とプライバシーの確保のために、一人ひとりの思いや希望を重視しながら、丁寧にかかわりをしている。整容や排泄・食事等の介助もさりげなく支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は入所者が思いや希望を表したりすることを大切に声かけを行っている（選んでもらう場面を作る、選ぶのを待つなど）		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の日課やスケジュールは決めず、入所者ひとりひとりの生活に合わせた声かけやケアをするように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整容の外出が困難な入所者（環境の変化が苦手な方）には、近隣の理髪店は訪問整容を依頼して、なじみの空間での整容を行っている。また、要望があれば、職員が行うこともある。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な限り本人の持てる力を発揮してもらい、買い物や調理、片付けを一緒に行っている。また、お願いすることで「頼られる喜び」を持てるような声かけや支援を行っている。	それぞれの力量に応じて、菜園から野菜を採ってきたり、食材の下拵えや味見・配膳・下膳など行っている。季節料理を利用者から教わったりして、職員も一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表を作成し、一人ひとりの食事の状態を把握している。食事量の少ない方には、医師へ報告し、対応を検討するようにしている。（栄養補助食品の摂取など）			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアチェック表にて対応している。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で、一人ひとりの排泄パターンをおおよそ把握し、トイレの案内やさりげない声かけをしながら支援をしている。また、本人のプライドを傷つけないよう声かけや態度には、細心の注意を払い対応している	排泄の自立は、自尊心の回復につながる重要な支援であるとの思いで、工夫を凝らしている。排泄パターンの把握を基にしてさりげない誘導・尿取りパットの改良により、自分で交換するようになるなど、効果を挙げている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を作成し、一人ひとりの排便の状況をおおよそ把握をしている。便秘傾向の方は、医師に報告し、場合によっては内服で調整を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に日時や曜日を決めておらず、一人ひとりの希望にあわせて、入浴ができるように支援している。平均すると1日おきだが、毎日入ることも可能である。	入浴日は決めないで、希望のときに入浴できるようにしている。仲良し二人で入浴を楽しんだり、入浴剤の使用や同性介護による気兼ねのない入浴など、ゆっくり楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝や起床は時間を決めず、一人ひとりのリズムに合わせている。また、眠剤に頼らず、本人の安眠の環境にも配慮している（現在は、眠剤服用の希望者は一人だけ）		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努	内服薬については、ファイルしており、変更等があった場合はその都度、確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所者一人ひとりが楽しみや出番が見出せるような場面作りの支援を行っている。また、「頼られる喜び」を感じられるように声かけや支援をしている（園芸・食器洗い・野菜の下ごしらえ・洗濯物のたたみや干し方など）		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入所者、一人ひとりの希望に沿って、散歩や買い物など、楽しむように支援している。また、家族や本人の希望にて、葬儀への出席や墓参り等の支援も行っている。	散歩や買い物など気軽に出かけられるように支援している。皆で飼っている犬の散歩をする人もいる。墓参りや結婚式に出かける人もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で金銭管理が困難な入所者の場合は事務所の管理依頼や職員サイドでの管理を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や知人等の連絡等歓迎し、連絡しやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節ごとの草花を飾ったり、壁面を利用して、季節感を取り入れている。</p>	<p>壁には季節の飾り物があり、草花や生花も置かれ、季節を感じられる工夫がされ、換気・採光・温度調節にも配慮がなされている。広間には畳の間やソファの配置もあり、くつろげる空間となっている。</p>	<p>ホーム建設時の真新しさが低下していくことは否めないが、計画的に清掃活動を導入するなどの取り組みが望まれる。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士で話をしたり、また、一人での時間もすごせるように、ソファの位置や、テーブルの場所等配慮を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅にて使い慣れたもの、家族の写真、自分で作ったもの等を飾り、それぞれの空間を作り出している。	仏壇・タンス・遺影・時計・観葉植物・人形・家族からのプレゼントなど、馴染みの家具や小物などが配置され、落ち着きのあふる過ごし易い居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人のできる力、残された能力を活かせるような環境作りに取り組んでいる。（物干しの高さ・箒など目につきやすい所におく。また、入所者一人ひとりの状態を見極めて、状況に応じて工夫をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない